

一般 働きがいのある職場とは

藤原 万起子 (市民ネット)



職員の働きがいのある職場づくりを目指し、環境や制度の充実を整える事により、仕事の効率化が図られ、その結果、市民サービス向上につながると思われる。

【Q】市民サービス向上について、来庁者の利便性向上に向けた取組は。

【A】マイナンバーカードの交付を事前予約にし、待ち時間短縮をした。オンライン申請や各種証明書のコンビニ交付など、来庁しなくても手続ができる仕組みを導入している。案内看板表記の多言語化や目の付く場所への設置をしている。接遇研修をし、市役所は最大のサービス業という意識を浸透させている。老眼鏡、軟骨伝導イヤホンの貸出し、通訳者、映像通訳などの活用、わかりやすい言葉、ゆっくり話すなどの対応に心がけている。

【Q】職員のメンタルヘルス対策や職場環境改善の取組は。

【A】労働基準法に基づくストレスチェックを実施。高ストレスの職員にはメンタルヘルス研修やハラスメ

ントに関する研修を定期的に実施し、精神的な疲労軽減に取り組んでいる。風通しのよい職場づくりと相談しやすい環境づくりをしていく。

【Q】イクボス宣言十カ条の現状と成果は。

【A】狙いは、幹部職員の意識改革を通じ働きやすい環境を実現すること、組織の業績向上と個人の仕事と私生活の充実を両立させること。個々の状況を理解し柔軟な働き方を認め、業務の効率化や意思決定の迅速化に努めるイクボスになれるよう、管理職の意識改革に取り組む。



一般 官民連携による駅周辺まちづくり

須藤 有紀 (みどり21)



【Q】菊川駅北整備における官民連携の展望及びPPPやPFIの積極推進について考えは。

【A】駅北まちづくりにおいては、PFI手法による施設整備事業は、該当する施設の計画で、積極的に民間の活力を導入する必要があると考えている。菊川駅北口においては、昨年度民間事業者の参入の可能性についてサウンディング調査を行い、現時点では参入する、しないの判断をくだせる状況ではないとの結果に至った。

【Q】反対の声も根強くあるが改めて駅及び駅前広場開発の必要性について見解と展望は。

【A】駅周辺整備は本市のまちづくりにとって非常に重要な事業。駅を中心とした南北市街地の均衡ある発展を図ることで、町全体の魅力向上、人口減少の抑制につながる。駅北地域では、日吉町と柳町の2自治会で406世帯、686人増加した。税収増は、市内全域の子育てや教育・福祉・インフラ整備の充実など、市全体に波及する効果が期待される。

【Q】公民連携で公共空間をうまくデザインすることによってまちのポテンシャルが上がる事例が全国である。魅力的な場づくりを積極的に行っていたきたい。コンセプト、期間、予算など具体案を落とし込んだうえでの民間への働きかけは。

【A】駅北ロータリーについては、令和9年度中に完成する見込み。ロータリー東側の市有地は、もう少し構想を練ったうえで公表して、参画していただける企業があればお願いしたい。



岩手県紫波町のオガール